

# 緊急事態 行動マイカード

1. 交通事故発生時の行動
2. 労働災害発生時の行動
3. 海外出張時のトラブル
4. 弔事の対応（夜間・休日）
5. 火災発生時の行動
6. 環境事故への行動
7. セキュリティ事故への行動
8. 緊急連絡先一覧

【裏面】大地震が起きたら

尾張精機グループ

2017年12月15日 BCP策定委員会  
※2024年5月1日改訂

## 1. 交通事故発生時の行動

- ①負傷者救護（負傷者がいる場合）
  - ・負傷者を安全な場所へ移動
  - ・119番で救急車を呼ぶ
- ②続発事故防止
  - ・事故車を安全な場所へ
  - ・状況により三角表示板、発煙筒を使用
- ③警察へ連絡（110番）して安全な場所で待つ
- ④相手を確認（住所・氏名・電話）  
（目撃者がいれば住所・氏名・電話）
- ⑤職場上司へ連絡（場所、事故状況）  
（事故発生時間帯を問わず連絡する）
- ⑥総務・人事課へ連絡  
0561-53-4121（本社・尾張旭工場）

## 2. 労働災害発生時の行動

- 通常時間
    - ①大声で助けを呼ぶ、上司に報告する  
（軽い怪我でも必ず報告する）
    - ②安全衛生委員長へ連絡し指示を仰ぐ
    - ③総務・人事課へ連絡
    - ④状態に応じた応急処置を行う
      - ・薬品付着は流水15分以上
      - ・重症、意識がなければ119番
      - ・呼吸がなければAED
      - ・出血多量時は止血
  - 夜間、臨出時
    - ①大声で助けを呼ぶ、上司に報告する  
（軽い怪我でも必ず報告する）
    - ②A・本社・尾張旭工場は守衛室へ連絡する  
【守衛室内線】220  
→守衛室は状況により救急車を呼ぶ  
B・美濃工場は周りの従業員へ連絡する。  
→従業員は状況により救急車を呼ぶ
    - ③状態に応じた応急処置を行う  
→応急処置内容は「通常時間」と同じ
- ①事後、すみやかに発生部署が災害速報を配信する
  - ②発生原因、対策後に現認書を事務局へ提出

## 3. 海外出張時のトラブル

急病、事故、犯罪被害、暴動・クーデター等の緊急時は次の通り対応

- 出張国に海外子会社がある場合
  - ①出張受け入れ子会社へ連絡
  - ②受け入れ子会社から尾張精機日本(以下、OSJ)へ連絡  
（所属先上司または総務・人事課）
- 出張国に海外子会社がない場合
  - ①所属部署または総務・人事課  
（代表TEL：+81-561-53-4121）
  - ②OSJ（総務・人事課他）の指示に

【海外子会社 代表電話番号】	
OSR(アメリカ)	+1-812-342-7651
OPPI(インド)	+91-80-2728-7170
OST(タイ)	+66-38-017-511
OSI(インド 祁)	+62-267-840-4305
【海外子会社 携帯電話番号】必要に応じ記入	

## 4. 弔事の対応（夜間・休日）

近親者等に不幸があったら次の通り対応

- 家族・親族に不幸があった時の対応  
（実父母、養父母、配偶者、子、祖父母、兄弟姉妹）
  - ①上司へ連絡
 

<ul style="list-style-type: none"> <li>・逝去者氏名・年齢・続柄・同居か別居</li> <li>・喪主（従業員との関係）・死亡日時</li> <li>・葬儀種類（家族葬・一般葬）</li> <li>・通夜葬儀日程/場所 ・その他</li> </ul>
--
  - ②上司は総務・人事課へ連絡
    - ・電話番号は「8.緊急連絡先」参照  
（24時間）
    - ・休日明けに「弔事連絡」を総務・人事課へ提出
- 本人弔事の場合の対応
  - ①家族が上司へ連絡
  - ②上司が総務・人事課へ連絡

## 5. 火災発生時の行動

火災を起こしたり発見したら次の通り行動

- ①大声で周囲に火災を知らせる
- ②火災報知器のボタンを押す
- ③近くの消火器で初期消火をする
  - ・安全ピンを外してレバーを握る
  - ・自分の避難経路を確認して消火
- ④火勢が弱まらないときは 119番

## 6. 環境事故への行動

次のような状況を見たらすぐ行動

薬品や廃液漏洩、異常な排煙・騒音、異臭、構内路面等への油分飛散、大量廃棄物、周辺河川の油膜など
---

- ①平日に発見したとき  
→総務・人事課（工場関係部署）へ連絡
- ②夜間、休日に発見したとき  
→守衛室へ連絡

## 7. セキュリティ事故への行動

パソコン異常や機密漏えい時の行動

- コンピュータウイルス感染が疑われる時
 

<ul style="list-style-type: none"> <li>・見慣れない画面が表示された</li> <li>・異常な動作、いつもと様子が違う</li> <li>・怪しいメール添付を開いた、リンクをクリックした など</li> </ul>
---

    - ①直ちにLANケーブルを抜き、Wi-Fiを切断
    - ②上司およびシステム開発課へ連絡
  - パソコン等情報機器の盗難・紛失時
    - ①各部の機密管理責任者、及び機密の全社推進部署（総務部）に直ちに連絡。
    - ②紛失機器についてシステム開発課に連絡。
  - 何者かによる機密漏えいの疑いがあるとき
    - ①各部の機密管理責任者、及び機密の全社推進部署（総務部（旭））に直ちに連絡。
    - ②情報機器が関係する場合、システム開発課にも直ちに連絡。
- <連絡先>  
機密管理 全社推進部署（総務部）  
0561-53-4121  
コンピュータ関係（システム開発課）  
0561-53-4121

## 8. 緊急連絡先一覧

相手	各工場守衛室外線	内線
本社・尾張旭工場	0561-53-4121	220
美濃工場	0575-35-3961	21
守山製作所	0561-57-2121	
江南螺子製作所	058-322-8996	

【自分のおぼえ】

相手	氏名	電話番号
上司		- -
上司		- -
同僚		- -
同僚		- -

【自分の記録、メモなど】

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
-------------------------

## 大地震が起きたら

### ◆会社で仕事中◆

- 屋内にいるとき
  - ①帽子、ヘルメットをかぶる
  - ②机の下に入る／設備から離れる
  - ③揺れがおさまったら火の始末
  - ④ドアを開けて出口を確保
  - ⑤あわてて飛び出さない
  - ⑥指定避難場所へ避難
  - ⑦状況により、工場敷地外へ避難

(避難場所)

- 屋外にいるとき
  - ①着衣等で頭を保護し広い安全な場所へ  
(ガラス飛散範囲＝建物高さの1/2)
  - ②タンク等構造物、電柱等に近寄らない
  - ③指定避難場所へ避難
  - ④状況により、工場敷地外へ避難

## 大地震が起きたら

### ◆クルマを運転中◆

＜クルマを置いて避難するとき＞

- ①交差点を避け、車を道路左に寄せて停止する
- ②カーラジオ等で情報を収集する
- ③車をおいて避難するときは出来るだけ道路外に移動する
- ④無理なら出来るだけ左に寄せ駐車しエンジンを止め、キーを車に残す
- ⑤窓は閉める(火災引込み防止)  
ドアはロックしない(緊急車両の通行確保)
- ⑥貴重品を残さない
- ⑦(余裕があれば)車の持ち主がわかるようメモを残す

やむを得ない場合を除き、避難や移動に車を使用しない

## 大地震が起きたら

### ◆在宅中や外出中◆

- 屋内にいるとき
    - ①身の回りのものですぐ頭を守る
    - ②窓ガラス等割れやすいものから離れ、家具などが倒れてこない場所に移動
    - ③揺れがおさまったら火元を確認、家を出るときはガスの元栓を閉め、電気ブレーカーを切る
  - 屋外にいるとき
    - ①手荷物などですぐに頭を守る
    - ②ガラスや看板などの落下物に注意
    - ③ブロック塀、自販機などから離れる
- ＜出張中に本社被災が予想される地震発生時＞
- 国内出張中  
所属先上司または総務課に居場所を報告
  - 海外出張中  
総務・人事課へJ-ル(+81-561-53-4121)つながらないときは上司・同僚の携帯へJ-ルして状況把握

## 大地震が起きたら

### ◆家族との連絡◆

＜普段から家族で話し合っておく＞

- 携帯電話の災害伝言板 を利用  
ドコモ/au/ソフトバンク等で震度6弱以上の地震など大規模な災害が発生した場合に開設される
- NTT災害用伝言ダイヤルを利用
  - ①伝言を残すとき(録音)  
・「171」+「1」+「市外局番・自宅電話番号」
  - ②伝言を聞くとき  
・「171」+「2」+「①の電話番号」  
注)「自宅電話番号」は固定電話、ひかり電話の番号
- 公衆電話の利用  
災害時は公衆電話が優先されますので、近くの公衆電話を事前に確認しましょう

家族待合せ場所：

## 大地震が起きたら

### ◆会社からの帰宅方法◆

＜津波、火災の危険がなくなったら＞

- 全社災害対策本部の指示に従い行動
  - ①避難場所から工場外の安全な場所へ移動
  - ②明るいうちに自宅到着できる人のみ帰宅  
そうでない人は翌朝以降帰宅を検討
  - ③同一方面居住者で集団帰宅する
  - ④無事帰宅できたら上司へ連絡

- 帰宅時に水、食料を受け取る
- 10km以上は徒歩帰宅を控え  
しばらく安全な場所に滞在する  
(徒歩速度 2.5km/h、10kmに4時間)
- 日没1時間前までに到着可能な場所に避難、移動することを事前に検討  
〔日没時間目安〕

3月1日 17:50  
6月1日 19:00  
9月1日 18:20  
12月1日 16:40

## 大地震が起きたら

### ◆会社への安否連絡◆

＜帰宅後および出社可能となったら＞

- 帰宅後の安否連絡
  - ①家族・住居の状況、出社の可否、避難先などを上司に可能な限り連絡する
  - ②上司に連絡がつかない場合  
本社・尾張旭工場（以下会社）へ連絡する
- 出社可能となったら  
上司に連絡し指示に従う。  
上司に連絡がつかない場合、会社に連絡しその指示に従う

「安否確認システム」検討中  
構築後は「安否確認システム」による

【上司連絡先】

氏名	
電話番号	

## 大地震が起きたら

### ◆日頃の備え(家庭で)◆

＜被害軽減のための準備は日ごろから＞

- 地震揺れ被害を防ぐ、軽減する  
家具の転倒防止、大型家電の移動防止、棚からの落下防止を確実に済ませておく  
(避難路確保のためにも)
- 非常持出し品を準備しておく  
一人で運べる分量をひとつにまとめて持出しやすい場所に保管する
- 備蓄食料、飲料水の在庫方法  
パックご飯、インスタント麺、缶詰食品、ペットボトル飲料など多めに常備して、使いながら入れ換える(ローリングストック)

【参考】名古屋市港防災センター  
<http://www.minato-bousai.jp/>  
(防災対策情報、災害情報、その他)

【防災知識】

- 「防災」：自助・共助・公助
- 「BCP」：人命第一・地域復旧支援・早期復旧  
事業継続計画：Business Continuity Plan

## 大地震が起きたら

### ◆家族連絡先◆

名前	携帯電話番号
	-
	-
	-
	-
	-

### ◆自宅最寄り避難所◆

施設名	
住所	
電話番号	

### 帰宅グループ

帰宅可否 〔〇で囲む〕	拠点〔〇で囲む〕	方面番号
可能・困難	本社尾張旭 守山製作所 美濃 広島・関東 江南螺子製作所	

※ 方面番号は、帰宅方面別区分表による